

令和 6 年度 平野区運営方針

(所属長 : 武市 佳代)

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」	
目標	・誰もが愛着を持ち、安心して住み続けることができるまち『ひらの』をめざす。 ・すべての人がお互いを尊重しつつ、つながり、支えあえるまち『ひらの』をめざす。 ・こどもたちが家庭・学校・地域で育まれ健やかに成長し、次の世代を担っていくことができるまち『ひらの』をめざす。
使命	・防災、防犯などの地域課題の解決に向けて、様々な主体が協働し、積極的に関わることができるよう支援する。 ・互いの人権を尊重し、地域ぐるみで支えあい、健やかにいきいきと、平野に愛着を持って暮らせるまちの実現をめざす取組を進める。
令和6年度 所属運営の 基本的な 考え方	・地域の自助・共助の大切さを呼びかけながら、大規模災害や感染症などに備えた防災力の強化を図る取組を進めていく。 ・すべての人が地域で安心して暮らしていけるよう、「住民同士のつながりづくり」「地域全体での見守りの充実」「たくさんの人や関係団体が連携・協力できる地域活動のネットワークづくり」のための取組を進めていく。 ・こどもたちの健やかな育みを支えるため、こどもたちが「生きる力」を身につけ、自分らしくいきいきと成長していけるよう、切れ目のない施策を進めていく。 ・孤立した家庭環境や保護者が抱える不安の中で、児童虐待が深刻化しており、虐待を未然に防ぎ、深刻化させないための対策をより一層強化していく。

重点的に取り組む経営課題

経営課題1 安全・安心のまちづくり

4決算額

93百万円

5予算額

99百万円

6予算額

106百万円

課題認識

【地域防災力の向上】

災害発生時に、住民同士の助け合いによって防災活動が行えるよう「自助・共助」を推進していく必要があることから、基盤となる地域でのつながりを深めることが重要であり、多くの地域住民が参加する地域防災活動を地域が主体となって実施できるよう支援を強化していく必要がある。

【地域防犯力の向上】

子どもや女性が被害者となる犯罪は後を絶たず、高齢者を狙った特殊詐欺の被害は深刻な情勢が続くなどしており、犯罪に対して不安を抱く人が少なくない状況である。安全で安心して暮らせるまちを実現するため、それぞれの地域において、地域住民が中心となり、自治体、学校、警察、事業者などと連携しながら、地域ぐるみで、犯罪などの防止に取り組む必要がある。

【地域活動力の向上】

各地域活動協議会の自律運営を実現するためには、地域の実情に即した効果的な支援を行う必要がある。さらには、地域活動の新たな担い手の発掘、育成の必要がある。

【地域魅力の向上】

区内には、市営住宅建替え跡地やもと小学校など53か所、約21ha（令和5年8月1日時点）の未利用地があるため、有効活用を図る必要がある。

主な戦略
(課題解決の方策)

- ・自助、共助を基本として災害に備える体制を確立させるため、地域住民などで構成される自主防災組織の主体的な防災活動実施の支援
- ・地域全体で犯罪を発生させないような環境づくりの推進
- ・区民ニーズの把握結果をもとに、地域活動協議会がより地域課題に応じた事業に取り組めるよう、まちづくりセンターを活用した支援
- ・地域活動力の向上の一環として、新たに2か所目の「花づくり広場」を開設し、各地域で花苗を育て地域の緑化に取り組み、また、子どもから高齢者までの幅広い年齢層が交流できるよう支援
- ・社会情勢の変化等に注視し、地域課題・区民ニーズなどを踏まえた未利用地の有効活用

アウトカム
指標

(経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標)

- ・自主防災組織主体の地域防災活動（防災訓練・防災イベントなど）の実施地域数（全23地域の内、令和6年度：20地域、令和7年度以降23地域）
- ・地域と関係機関の協働による特殊詐欺被害防止の啓発活動の実施回数（令和7年度末まで毎年度5回以上）
- ・地域活動協議会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合（令和7年度末までに構成団体へのアンケートで90%以上）
- ・地域活動の新たな担い手の発掘、育成につなげるため、「種花事業」で育てた花苗の配布地域数（令和6年度以降継続的に区内23地域）

アウトカム
指標の達成状況
(定量評価)

6年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成

前年度実績

経営課題2 みんなで支えあう福祉のまちづくり

		4決算額	47百万円	5予算額	48百万円	6予算額	49百万円
課題認識	課題認識	【地域福祉力の向上】 平野区ではさまざまな事情で支援を要する方々が暮らしておられる。多様な生活課題を抱える方々が孤立することなく、こどもから高齢者まで、障がいの有無に関わらず、住み慣れた地域でお互いに支えあいながら暮らし続けていけるよう、「住民同士のつながりづくり」「地域全体での見守りの充実」「たくさんの人や関係団体が連携・協力できる地域活動のネットワークづくり」のための地域特性に応じた支援体制が必要である。 また、将来にわたり高齢化率が高い状態で推移すると予想されることから、健康寿命の延伸を図るための取組を広げる必要がある。					
	主な戦略 (課題解決の方策)	・平野区を取り巻く様々な福祉課題に対し、「平野区地域保健福祉計画（第3期）」に沿って中長期的視点で安定的かつ継続的に取り組む ・地域での福祉活動を中心的に担う「地域福祉活動コーディネーター」が地域の福祉活動の担い手とともに、各地域において、平野区社会福祉協議会をはじめ、専門支援機関などとの連携を図りながら見守りや相談ができる体制を機能させることによる地域福祉力の向上 ・健康寿命の延伸を図るため、年を重ねてもいきいきと活動するための運動習慣や、認知症の発症予防（遅延）及び認知症を発症しても住み慣れた地域で安心して過ごせる取組の支援					
	アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標)	地域福祉活動コーディネーターが関係機関と連絡調整した活動件数（令和5年度以降継続的に1地域あたり月平均25件以上）					
	アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	6年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績	

経営課題3 こどもが元気で育つまちづくり

		4決算額	37百万円	5予算額	59百万円	6予算額	64百万円
課題認識	課題認識	【子育て支援の充実】 ・大阪市全体で「重大虐待ゼロ」に向けた取組を進める中、平野区では要保護児童対策地域協議会に非常に多くの要保護児童（虐待リスクのある児童）が登録されており、児童虐待対策を実施するにあたり、「未然防止」「早期発見」「早期対応」の3つの観点から体制を充実させる必要がある。 ・生活困窮度の高い子育て世帯においては、複合的な家庭問題を抱えている事例も多いため、学校における教育分野の支援と区役所における保健福祉分野の支援を連携し、総合的な支援を実施する必要がある。また、高校中退の問題についても、区内の府立高校との意見交換会において深刻な状況が報告されているため、高校生活の定着支援に取り組む必要がある。 【こどもの学習意欲の向上】 ・こどもたちが経済的な理由や家庭環境に左右されことなく、魅力や個性を伸ばし、学習習慣の定着を通じて「生きる力」を身につけることができるよう、こどもたちの学びを支援する必要がある。					
	主な戦略 (課題解決の方策)	・児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援 ・複合的な課題を抱える子育て世帯に対する総合的な支援と高校生活の定着支援 ・こどもが生きる力を身につけることができるよう、読書運動や清掃活動など、様々な活動に対する表彰や学力サポート事業などの実施					
	アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗度を示した指標)	こどもサポートネット支援対象者件数：令和5年度以降継続的に300件以上 学校に行くのは楽しいと感じる生徒の割合：全国学力・学習状況調査で令和7年度末までに76%以上					
	アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	6年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績	

自己評価 (運営方針全体の定性評価)	
-----------------------	--

今後の方針	
-------	--